

## 広島市民レガッタの歩み

西 暦	和 暦	回 数	出 来 事
1977	昭和 52 年	第 1 回	広島市民レガッタを、51 クルーが参加して庚午橋下流で開催。
1979	昭和 54 年	第 3 回	現在の山手橋上流コースに移った。(61 クルー参加)
1983	昭和 58 年	第 7 回	これまでの 60 クルー程度から 20 クルー増えて、84 クルーの参加となった。
1984	昭和 59 年	第 8 回	シングルスカル種目をとりやめた。
1985	昭和 60 年	第 9 回	102 クルーが参加し、初めて 100 クルーを超えた。
1986	昭和 61 年	第 10 回	第 10 回記念大会を開催。
1988	昭和 63 年	第 11 回	会場を右岸から左岸(中広町側)に移し、秋季に開催。
1989	平成元年	第 12 回	再び春季に開催することとした。
1991	平成 3 年	第 14 回	参加が 106 クルーとなる。
1992	平成 4 年	第 15 回	参加が 118 クルーの過去最高となった。
1993	平成 5 年	第 16 回	ちびっ子エルゴ大会開催。
1994	平成 6 年	第 17 回	OBリーグ復活。
1995	平成 7 年	第 18 回	雨天のレガッタとなったが、76 クルーが参加。
1997	平成 9 年	第 20 回	親子やチビッコの体験試乗を開催。
1998	平成 10 年	第 21 回	笹川スポーツ財団SSFスポーツエイド事業の対象となった。
1999	平成 11 年	第 22 回	初めて小中学生のジュニアレースを実施し、4クルーの参加で1レース行った。
2001	平成 13 年	第 24 回	地元の大学・クラブの新人対抗レースを行った。
2002	平成 14 年	第 25 回	艇の老朽化や運営スタッフ減などによる広島市民レガッタの存続の危機を訴えた。
2004	平成 16 年	第 26 回	規模を縮小して艇の老朽化や運営スタッフ減に対応し、1年ぶりに開催した。
2006	平成 18 年	第 28 回	第 1 回開催から30年目。
2009	平成 21 年	第 31 回	県内各高校大学ボート部 OB,OG 団体が運営スタッフとして全面的にサポートし開催。
2012	平成 24 年	第 34 回	広島南道路架橋工事の関係で 9 月開催。 新たにカーボン製ナックルフォア「太田川 1 号」、および「太田川 2 号」の 2 艇を購入し、借艇 2 艇と共に、カーボン艇によるレースを開始した。
2013	平成 25 年	第 35 回	ホームページ開設、インターネットによる情報発信開始。 新たにカーボン製ナックルフォア「太田川 3 号」を購入、更に個人からの寄贈艇「双葉」が加わり、カーボン艇による 5 艇レースが可能となった。